□ はじめに

筆者は第 59 回日本暦学会総会(2010)²で『西暦 2033 年問題について』という演題でお話しをさせていただきました³。その際に、いわゆる「西暦 2033 年問題」に気づいた背景として、私が開発した諸々の暦を相互変換する When.exe というコンピュータ・プログラムを紹介しました。しかし当時紹介した When.exe は MS-DOS という OS 上で動作するもので、世の中のコンピュータ環境が大きく変化してしまった結果、一般の人が簡単には利用できなくなってきていました。

そこで、2010年の夏ごろから動作環境を一新した新プログラム When.exe Ruby 版を開発しました。その途中経過は「When.exe Ruby 版」 4 のような記事に書きましたが、その後 2016年ころに開発は一段落しました。

When.exe Ruby 版は中核となるライブラリとそれを利用した Web サーバー(暦サイト – hosi.org)からなります。本稿では前記記事「When.exe Ruby 版」から、背景や技術的側面に関する記述を省略し、同記事以降実装した新機能についての説明を加え、暦サイト hosi.org のいくつかの機能をピックアップして紹介します。

□ When.exe Ruby 版の概要

When.exe Ruby 版は、かつて筆者が開発した When.exe MS-DOS版 5 の後継版で、あらゆる暦を表現し変換することを目指している Ruby 言語のライブラリとその関連プログラムです。

■ 目的·用途

When.exe Ruby 版の基本的な目的は古今東西あらゆる文化および言語で用いられた暦日・暦法・時法・暦年代・暦注などに共有可能な名前付けを行い、統一的に扱うための枠組みを提供することで、ISO8601:2004・ISO19108・RFC5545(iCalendar)・RFC6350などの規格に対応しています。結果として暦日・暦年代の変換、暦注の表示を行う Web サーバーに向くライブラリを開発することとなりました。

■ リソースの所在

下記を参照してください。

demo http://hosi.org (暦サイト) **wiki**

http://www2u.biglobe.ne.jp/~suchowan/ blog http://suchowan.at.webry.info/ gems

https://rubygems.org/gems/when_exe

https://github.com/suchowan/when_exe

□ Web サーバー

以下、暦サイト hosi.org について、その機能のいくつかをピックアップして解説します。ライブラリ本体についてはwiki のRuby以下の項目を参照してください。

■ 暦相互変換(http://hosi.org)

hosi.org のもっとも基本的な機能は暦相互変換機能です。パソコンやスマートフォンなどから使える Web ブラウザでhttp://hosi.org を開くと主画面に入ります(上図)。主画面は暦法および暦年代(以下、両者を総称して単に暦法と呼ぶ)選択ツリービュー(①,左部)、暦日選択フォーム(②,右上部)、暦日表示部(③,右下部)からなります。暦日表示部には各種暦法での日付表記とその暦法での主な暦注を表示します。表示しようとする暦日の期間によって、各種暦法による一日分の表示



→ C û	① hosi.org:3000/*/点(20)(1684)-02-2	1 ••• (☑ ☆ ○ 検索		→ III/			
△江戸時代 ^	更新する (虫,ダ,かな,NDL)日本::江	戸時代::貞享 1 二月	~ 21 [水曜日(2) 丁	⊟(53)] ′ (;	は 1684-04-05 <出来事> 🍱			
慶長	Date[2336224]: 貞享01(1684)-02-21 <西班							
元和	1684年04月05日(水) ▶ ISO							
<u>寛永</u>	暦法または地域	層日表記	年の暦注 (?)	月の暦注	日の暦注 (2.2)			
正保	西暦(カスタマイズ可能)	<u>1684-</u> <u>04-</u> <u>05</u>		4月	日の出(05:40) 日の入り(18:25) 正年(19.9)			
- ●慶安	グレゴリオ暦	1684- 04- 05		4A	(13.9)			
■承応	ユリウス暦	1684- 03- 26		3/H				
明暦	ユダヤ暦	5444- 07- 21		ニサン				
万治	イスラーム暦(30年周期)	1095- 04- 19		ラピーウ・アル=サー				
·····································				==				
延宝	アルメニア暦	<u>1133- 06- 27</u>		arac'				
天和	ヘジラ太陽暦(多種接続)	<u>1063- 01- 17</u>		ファルヴァルディーン				
──員享	諸王の王の暦	<u>1053-</u> <u>06-</u> <u>02</u>		Shehrevar	Bahman			
──□元禄	インド太陰太陽暦	<u>1606-</u> <u>01<</u> <u>06-</u>		チャイトラ 黒分				
宝永	インド太陽暦	<u>1605-</u> <u>12-</u> <u>29</u>		双無宮				
□●正徳	時輪曆	<u> 1811- 02- 21-</u>	木男鼠(0)	麗宿月				
□享保	タイ太陰太陽暦	<u>2227- 05< 06</u>		チャイトラ 黒分				
元文	ジャワ・イスラーム暦	<u>1607(1095).</u> <u>04.</u> <u>19</u>	Dal(4)	4/1	Kliwon(3) Warukung(2) Rabu(3) Gumbrek(3)			
	中国::遺(塗)	康熙23(1684). 02. 21	甲子(00)	三丑	丁巳(53)			
□見味	<u>日本</u> ::江戸時代(虫,ℱ,かな,NDL)	<u>貞享01(1684). 02. 21</u>	甲子(00)	二月	TE(53)			
□ <u>姚字</u> □ 實証	琉球::第二尚氏(並)	<尚貞王>16(1684). 02. 21	甲子(00)	三月	丁巳(53)			

(一日表示)、特定の暦法による一月 分の表示(一月表示)、同じく一年分 の表示(一年表示)が切り替えて表示 されます。

例えば貞享元年の特定の日を表示したい場合、まず選択ツリーで、医療状ツリーで、医療状ツリーで、医療が関します。階層を展開します。階層を展開します。階層の時間を展開します。階層の時間を表が列挙されますので、そのようには、変元のは、単に「更新する」が表示する。までを押せばよいです。結果、暦を記したが表示さればよいです。結果、暦を部であれば、よいです。結果、暦を部であれば、よいです。結果、暦を部であれば、よいです。おまでを部であればよいです。おまでを部であればよいです。おまでを部であれば、からによいである。

■ 仮名暦 (http://hosi.org/Note/*yyyy*v)

主画面の暦日選択フォームで日本暦日の江戸時代(おもに貞享年間以降)が選択されている場合、「かな」「NDL」などのリンクが現れます(前頁下図④)。

このうち「かな」リンクをクリックすると、その年($yyyy=1666\sim1872$)の仮名暦を表示します(上図) 6 。これは「江戸時代の暦復元ワークショップ」 7 で紹介した江戸時代の暦復元プロジェクトのための機能です。一方「NDL」リンクをクリックすると国会図書館デジタルコレクション所蔵の同じ年の暦の写真イメージを表示します 8 。貞享元年の暦は、改元前の前年末に出版されるため、その元号は前年号である「天和」となります。

江戸時代の暦復元プロジェクトでは前者の内容を後者の写真イメージを用いて校訂することを想定しています。同プロジェクトは中断していますが、今年は新たな展開を期待したいです。

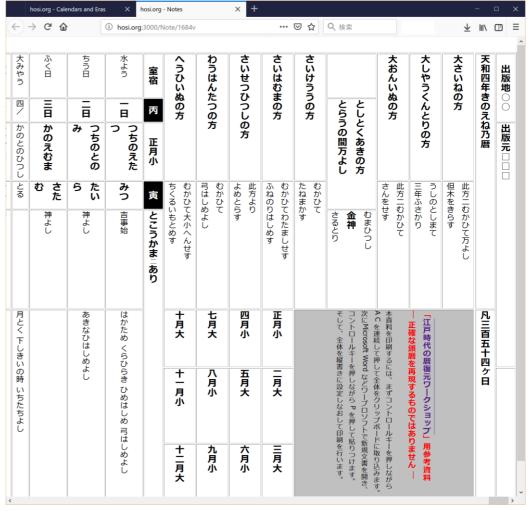
■ 暦注検索(http://hosi.org/Note)

主画面の暦日選択フォームで日本暦日が選択されている場合、「かな」「NDL」以外に「☞」のリンクが現れます⁹。この「☞」リンクをクリックすると、暦注検索画面を表示します(下図)。

● 石神遺跡出土具注暦

ここで、奈良県明日香村石神遺跡で出土した具注暦の日付を検索してみましょう。この 具注暦の表面には、二行目に「辛酉破上玄」 翌日の三行目に「壬戊(破)三月節」と書いて あります(中図)¹⁰。

そこで暦注検索画面で、期間を「全期間」とし、二十四節気が「清明」、日付が「10」¹¹、日の干支が「壬戌」という条件をすべて満たす暦日を検索してみると、下図のような結果となります。持統三年と延徳二年の暦日がヒットします。出土状況からして、この木簡は持統三年の木簡と推定されます。このように本サイトを用いると、暦に関する断片的な情報から、もとの暦日を特定できるのです¹²。



	□ (N ₂) 丑 枚®	□ ^{□ [2} 2] 子 成	□ 癸 亥 色 ^⑥	□ 壬 戌 皮 ^(w)	辛酉破	申丸
□ n n n n n n n n n n n n n n n n n n n	天間日 □□□	絶紀帰忌□	□(重々) 馬牛出椋□	三月節急盈九	上玄 □ 虚 厭 □	



■ イベント検索(http://hosi.org)

本サイトではイベント検索もできます。史実などをイベントとして登録してあるデータセットを説明ページ¹³のとおり設定しておくと、主画面の暦日選択フォーム(②)の右端に「データセット」ボタンが現れます(上図⑤)¹⁴。

この「データセット」ボタンをクリックする と、その日付に関わる史実が列挙されるのです (次図)。

この例では貞享に改元された当日を検索した ので、史実として『貞享元:「貞享」に改元する。』 が見えています。

本サイトではデータセットに複数回現れるキーワードには現れる箇所を列挙する画面へのリンクをつけています。この場合、「改元」というキーワードにリンクがあるのでクリックしてみましょう(さらに次図)。

「改元」というキーワードを含むリンク全部で 243 件のうち最初の 25 件が列挙されました。これを見ると「聖武天皇」などのキーワードにリンクがあります。そこで、さらに「聖武天皇」をクリックしてみましょう。

聖武天皇に関わる事績が即位から皇后の薨去 まで一覧して列挙されました(下図)。このよう に関心のおもむくまま、さまざまなイベントを サーフィンしてみるのも面白いでしょう。

ロ おわりに

本稿で紹介した暦サイト hosi.org の機能は、そのごく一部です。使い方の詳細については、ヘルプページ¹⁵で詳しく解説していますので、そちらをご覧ください。

筆者が暦に関心を持つようになって半世紀近くなります。暦の世界はきわめて奥が深い。本サイトは、その奥が深い世界を筆者なりの表現方法で提示したものです。このようなサイトがあることを知っていただき、有効に活用していただければと思います。

1 日本暦学会理事,暦の会会員,

メールアドレス SGB02104@nifty.com

- 2 平成 22 年(2010) 3 月 26 日に熱田神宮にて開催
- 3 「二○三三年問題について」

(『日本暦学会』第 18 号 pp.1-10,2011)

- ⁴「When.exe Ruby 版」
- (『漢字文獻情報處理研究』第 15 号 pp.104-109,2014)

 $http://www.asahi-net.or.jp/{\sim}dd6t-sg/pcs/jaet15.when.pdf$

- $^{5}\ http://www.asahi-net.or.jp/{\sim}dd6t\text{-}sg/whenhome_contents.html$
- ⁶ 例えば http://hosi.org/Note/1684v,

Web ブラウザの種類によっては横書き表示になります。 石原幸男氏の下記サイトからもほぼ同じ画面へ入れます。 http://www.asahi-net.or.jp/~jc1y-ishr/Kyuureki/EdoCalendar/

7 「江戸時代の暦 復元ワークショップ」









(『日本暦学会』第 23 号 pp.18-19,2016)

 $http://www.asahi-net.or.jp/{\sim}dd6t-sg/pcs/edogoyomi-workshop.pdf$

- 8 例えば http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2546782/64
- ⁹ 記事「When.exe Ruby 版」以降に実装した新機能です。
- ¹⁰ 図は岡田芳朗「日本最古の暦―その年代推定と暦注解釈」『しにか』 2003 年 8 月号 pp.63-69 によります。
- 11 清明の前日に「上玄(弦)」とあることから、清明の日付が絞り込めます。本稿では割愛しましたが、実際には「10」の前後数日も確認しています。
- 12 この検索機能と、そのもととなったデータセットは LOD チャレンジ Japan 2014 データセット部門優秀賞を受賞しました。

http://lod.sfc.keio.ac.jp/blog/?p=2586#dataset

13

 $http://www2u.biglobe.ne.jp/\sim suchowan/u/wiki.cgi?Calendar\%2FWhen\%2FRDF\%2FEvent\%2F1\%2EWeb\%2F1\%2EGUI\%2F1\%2E\%E5\%B0\%8E\%E5\%85\%A5$

- ¹⁴ これも記事「When.exe Ruby 版」以降に実装した新機能です。
- $^{15}\ http://www2u.biglobe.ne.jp/{\sim}suchowan/wiki/help.html$